2018年４月４日

各　位

ＰＣＩホールディングス株式会社
（コード番号 ： 3918　東証第一部）
経営企画本部　グループ戦略室

『ServerGuard for Windows』の共同開発に関するお知らせ

～株式会社 Blue Planet-works のサイバーセキュリティ製品「AppGuard®」の技術要素を応用～

当社グループは、当社の出資先であり、代理店販売を手掛ける『最強そして究極のサイバーセキュリティ製品「AppGuard®」』のメーカーである株式会社 Blue Planet-works（本社：東京都渋谷区、代表取締役中多 広志。以下、BPw 社）と共同で、「ServerGuard for Windows」の開発を開始することを合意いたしましたのでお知らせします。

１．開発の背景

当社グループは、IoT/IoE 社会におけるサイバーセキュリティ技術の向上のみならず、セキュアなコミュニケーション環境の提供により、「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指しております。

”Safety for the Connected World ”を標榜する BPw 社の企業コンセプトは、IoT/IoE 社会の「安心・安全」への貢献を目指す当社グループの事業方針と等しくあり、また、「１MB 以下」と比類なく軽量な「AppGuard®」は、当社グループが得意とする通信制御・組込み技術と非常に親和性が高い技術であると考えており、積極的な営業展開を実施しております。

足元の「AppGuard®」の販売活動におきましては、同製品のサーバ対応についての照会が相当数にのぼっており、この度 BPw 社と共同でサーバそのものの防御を目的とした「ServerGuard for Windows」の開発を行うことを合意いたしました。

２．開発の必要性

従前の対サーバ・セキュリティは、サーバ自体ではなく、ファイアーウォールや IPS（※）等のネットワークセキュリティによって守られていましたが、高度化するサイバー脅威に対し、サーバそのものの防御の必要性が生じてまいりました。

クライアント PC とは異なり、アクセスを待つ立場のサーバに対し、当該製品がネットワークセキュリティを突破したサイバー攻撃に対する最後の砦として、入口となるアプリケーションを制御、不正動作を止めることにより、サーバの正しい動作を守ります。

（※）IPS（＝Intrusion Prevention System）
不正なアクセスを検知し、特定のネットワークやコンピュータへの不正侵入（=Intrusion）を自動的にブロック（＝防御、Prevention）する機能を備えた侵入防御システム。

３．製品機能概要

現行のエンドポイント・プロテクション「AppGuard®」モジュールを活用・応用したWindows サーバ向けセキュリティ・システムであり、超軽量なエンジンによる高速処理によってサーバ性能に悪影響を及ぼさずに、攻撃を遮断・阻止します。

ゼロデイ攻撃、ファイルレスマルウェア等、最新のサイバー攻撃から、重要なコンポーネント（レジストリ、システムフォルダ）に対する攻撃を阻止することでサーバの安全を守ります。

４．開発スケジュール

2018 年 4 月～2018 年 12 月末（予定）

５．業績への影響見通し

今後も当社グループは、IoT/IoE 社会におけるサイバーセキュリティ技術の向上のみならず、セキュアなコミュニケーション環境の提供により、「安心・安全・豊かな社会の実現」への貢献を目指します。あらゆるモノがインターネットを介してつながる「IoT/IoE 社会＝Connected World」の到来を見据え、エンドポイント・プロテクション「AppGuard®」に加え、自動走行・自動運転を始めとした車同士あるいは「人と人」・「人とモノ」・「モノとモノ」が相互に繋がる「Connected World」におけるセキュリティ強化まで、当社グループがリードしてまいりたいと考えております。

本件による当社の 2018 年 9 月期連結業績に与える影響は現時点で軽微であると判断しておりますが、今後、製品展開の進展等、業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

≪AppGuard®とは≫

「最強そして究極」のサイバーセキュリティ製品と呼ばれる AppGuard®。その特徴は、① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 18 年以上破られたことのないことです。

導入実績としましては、米国では、政府機関等で 18 年前から採用されており（一度も破られたことがありません）、命に係わる医療機関などでも採用が進んでいます。

日本国内におきましては、当社グループをはじめ、大手航空会社や大手旅行会社において導入が進んでおります。

以　上